

住まいの玉手箱

太陽光発電

このところ、太陽光発電(ソーラーパネル)が注目されています。その理由は①「地球に優しい」②「電気代の節約」にあります。②に関しては屋根の形状や立地条件により発電量に差があるため初期投資とその後の「メンテナンス」を考えると慎重に判断する必要があるでしょう。

国や市町村からの助成金制度の内容は流動的で、今後は縮小の方向にあるようです。2010年からの「買電価格2倍」等、未確定の情報もありますが、地球のこと、我が家のこと…、良く考えて検討してみましょう。

助成金

国や地方自治体が住まいの新築やリフォーム時に助成金を出すには、大きな社会的意義があります。

環境に関するもの(CO₂削減・省エネなど)、福祉に関するもの(バリアフリーなど)、また街の景観づくりなど多種多様です。具体的には①太陽光エネルギー②給湯システム③バリアフリー住宅④耐震化工事⑤生ごみ減量化⑥生け垣⑦雨水タンクなどです。また、助成金だけではなく、住宅ローンの削除や固定資産税の減税などもありますが、いずれの場合も自治体によって制度の有無や条件などが異なりますので、まずはご相談ください。

重曹のパワー「NaHCO₃」

住まいの洗剤として「重曹」が話題になっています。キッチンではシンクやレンジ周りのお掃除はもちろん、焦げたお鍋(アルミ以外)に水と小さじ2程の重曹を入れて沸騰させ、数時間放置すると焦げが取れやすくなります。浴室では浴槽にひとつまみ入れて入浴(温泉に似た作用)、その残り湯でお掃除またはお洗濯(脱臭・柔軟効果)ができます。

また容器に入れて下駄箱や冷蔵庫の脱臭剤(2ヶ月程有効)として、ペットのドライシャンプーとしても使えます。人体に無害なため、口に入っても安心なのも魅力ですね。

防犯
耐震
介護
収納
アイデア

くらべてみよう
あなたならどっち?!

毎回住まいに関するものの中から皆様の関心の高いものを2つとり上げ
色々な角度・視点から比べてみようというコーナーです。
今回はロールスクリーンとブラインドです。
さあ、あなたならどちらを選びますか?

ロールスクリーン VS ブラインド

どちらか良いと思う方に○印をおつけください。

<input type="checkbox"/>	・材質・色・柄ともに自由度があり、豊富な品揃えから選ぶことができます。	<input type="checkbox"/>	・アルミ製では、羽根の幅が選べ、また裏表がツートンカラーのものもあります。最近はウッドブラインドも人気です。
<input type="checkbox"/>	・ハタキをかけるか、品物によつてはウォッシャブルで洗濯機で洗えるものもあります。	<input type="checkbox"/>	・普段はハタキをかけ、たまには羽根を一枚ずつ住まいの洗剤で拭き取ります。
<input type="checkbox"/>	・布地の薄いものもありますが、閉じた状態ではありません。	<input type="checkbox"/>	・羽根の向きにより、視野を遮りながら風を入れることができます。
<input type="checkbox"/>	・布地の選び方によって、効果が様々です。窓枠に被せるように取り付けると有効です。	<input type="checkbox"/>	・繊細な光で演出が可能ですが、全閉の時でも多少光が入ります。

○の数を記入
個

○の数を記入
個

さあ、あなたはどちらのタイプになりましたか?
それぞれ良い所がありますね。

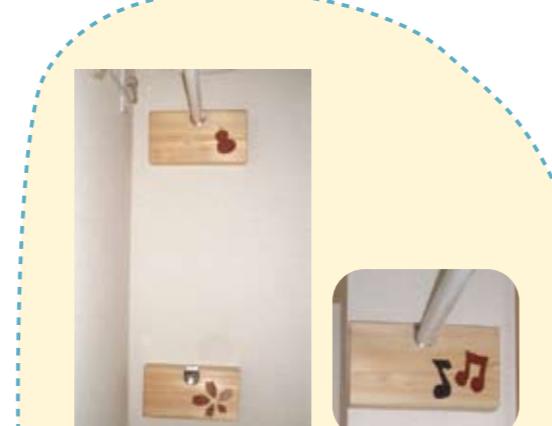
次回予告 在来のお風呂VS ユニットバス

※こんなものを比べてほしいというご希望がございましたら、お気軽にご連絡下さい!!



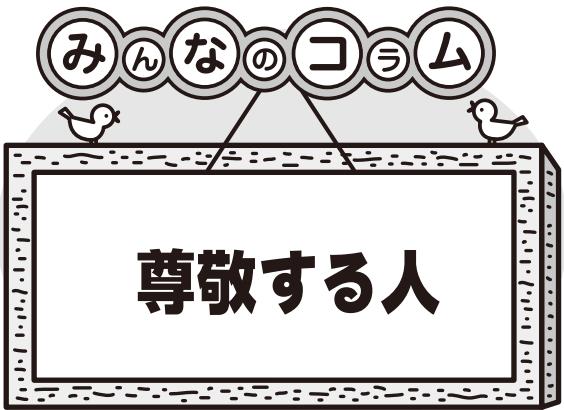
チアアイデア 作品集

見てね！



実際に工事をした増改築やリフォームなどのアイデアやヒントの一部をご紹介します。
「こんなこともできるの？」「あら、素敵！」「うちもやってみよう！」
機能性や独創性のあるアイデアや遊び心をくすぐるヒントなど、
皆様のリフォーム計画の参考になればうれしいです。





江原啓之

信頼度No.1
[社長]守屋辰彦

スピリチュアルカウンセラーとして大変有名な方です。私は江原さんの能力的なすばらしさはもちろんですが、人と話をするときの、相手を思いやる心、優しい気遣いに、感銘を受けました。以来、人とわかりあいたいと思うときは江原さんの接し方を思い出すようになりました。

まず、話を聞くときは、相手の思いや考えをすべて聞き出し、あらためて自分の考えを優しい言葉で相手にハッキリと伝える。また、話を聞くときは相手の目をしっかりと見ること、自分が話すときは、言葉だけでなく、表情や手振り身振りを加え、自分の考えを真剣に伝える。なかなか出来ることではありませんが、一生懸命努力したいと思います。



仕事の魔術師
[営業主任]今井治彦

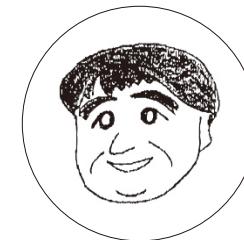
長嶋茂雄

小さい頃から毎日が野球漬けだった私の尊敬する人は、長嶋茂雄さんです。その当時長嶋派と王派にわかれていって、よく議論を交わしたものでした。人間的におおらかで、ここぞと、いう時の1発は、皆を魅了したものでした。私の部屋の壁には、今でも長嶋茂雄さんの引退した時の大好きな写真が、飾っています。

オードリー・ヘップバーン

オードリー・ヘップバーン主演の映画「ローマの休日」のラストシーンは何度観ても胸がいっぱいになります。あの背筋がシャンと伸びた姿と彼女の後半生の生き方がぴったりと重なって、「ああ、なんて素敵なお人なんだろう。」と思います。後半生の生き方というのは、映画界から身を引き、アフリカの難民の子供たちのために63歳で亡くなるまで生涯を捧げたのです。新聞の広告に素顔のままで子供を抱いている穏だらけの笑顔の写真を見たことがある人もいると思いますが、スクリーンの中以上に素敵です。

とてもとも、足元にもどこにも及びませんが、時々彼女の写真を観て勇気をもらっています。



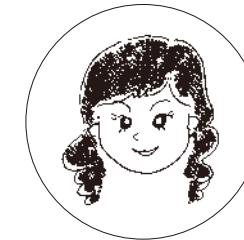
吉田松陰 [会長]守屋辰彦

幕末動乱期、後に明治維新を打ち立てることになる多数の門下生を輩出した「松下村塾」の師「吉田松陰」の言葉を紹介します。

- 志誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり
- 志を立ててもって万事の源となす
- 志士は溝壑に在るを忘れず
- 己に眞の志あれば、無志はおのずから引き去る。恐るるにたりず
- 凡(およ)そ生まれて人たらば、宜しく人の禽獸に異なる所以を知るべし
- 体は私なり 心は公なり 私を役して公に殉(したが)う者を大人と為し 公を役して私に殉(したが)う者を小人と為す
- 人賢愚ありと雖(いえど)も各々一二の才能なきはなし 淀合して大成する時は必ず全備する所あらん
- 死して不朽の見込みあらばいつでも死ぬべし 生きて大業の見込みあらばいつでも生くべし



信頼度No.1
[社長]守屋辰彦

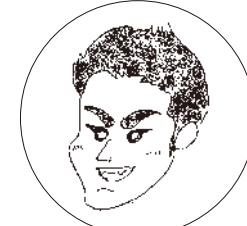


両親 オールマイティママ
[経理]守屋祥子

あるランキングで、新成人の尊敬する人の第一位は「親」とありました。そんな風に素直に、言えることが羨ましく思います。

当時は、色々制約する親が疎ましく感じるばかりでした。今となると、常識だったと思え、それを学び身に付いたおかげで、社会人、親としていま、なんとか過ごせていると思います。

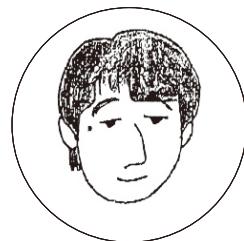
だいぶ年老いてしまいましたが、両親に今はとても感謝し、尊敬し、大切に接していきたいと思います。



長谷川幸三郎 熱意とこだわりの仕事師
[玄能鍛冶]立花慶次

私の尊敬する人の一人に長谷川幸三郎という玄能鍛冶がいます。一目見ただけで凍り付くような芸術的な仕上がり、丁寧な作りに魅了され、普段から愛用しています。自分が家造りをする際にも、長谷川幸三郎が作る玄能のような基本に忠実な作りを大切に、さらに独自性を盛り込みながら、丁寧な仕上げをしていく事を目標に日々取り組んでいきたいと思います。

*玄能(げんのう)は、頭の両面に打ち面があるかなづちの一種で、数ある大工道具の中でも最も古い歴史を持っています。



設計の匠
[設計課長]鈴木浩司

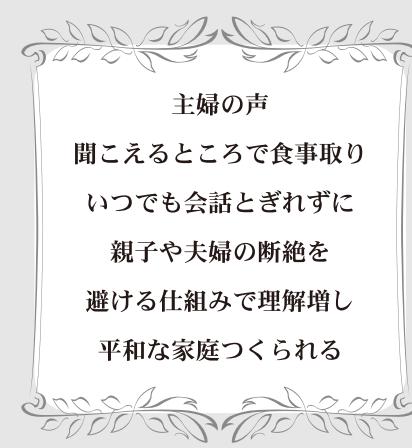
安藤忠雄

数年前に、安藤氏の講演を聴いて、建築に対する強い情熱に圧倒されました。建築の為に役所に働きかけ規制の変更を交渉したり、地方の土地を生かすため頼まれてもいいのに設計をしてみたとか…。プロボクサーになった後、建築を独学で学び4年間海外を放浪し設計事務所を設立。異色の経歴の建築家ですが、自然環境との共生を意識したダイナミックな建築の数々は、世界的にも高い評価を得ています。最近では、東急東横線の渋谷駅が有名です。一度見に行かれてはいかがでしょうか。

ホーミー教室

食堂
diningroom

家族のスタートは朝食のテーブルから始まります。爽やかな気分で仕事に出掛け、学校にむかう…毎日のスタートがこの様なものであれば、その一日の充実の度合いも違ってくるに違いありません。



子どもは時に、親の存在を鬱陶しく思うことがあります。そのくせ親の意識を自分から離したくないという気持ちを持っています。面と向かうと素直になれない…出来れば親の顔を見ないで話したい時もある。真正面から注意されると心ならずも反発したくなる。これら的心と心の行き違いを解決するのは、やはり心です。直接面と向かわなくても話が出来るような台所・食堂・居間の関係…仕事に忙しい夫、それぞれ独自の世界を持ち始めた子ども達、これらの家族一人一人が主婦と何らかのコミュニケーションを常に持ち得ることが大切なことです。